

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 11 日

事業所名 コネクト×さいころ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	8	2		児童の体格や動きに よってスペースを確保し ています。	
	2	職員の配置数は適切である	4	5			十分なとき、少ないときがあるが、管理者やリーダーが調整し ています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	10				
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	7	3			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	1	3	6		今回初めてのアンケート実施です。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	1	2	7		R4.3月にホームページを開設したため、事業所情報の掲載を 案内します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	1	7		
適切 な 支 援 の 提 供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	10				職員研修を実施しています。 令和3年度は5回行いました。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8	2			職員会議にて多職種間で協議し作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 している	7	1	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	10				活動グループを発足させ、立案・実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	10				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	3	2		利用時間に応じて支援を決定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	8	1	1	支援したことについて児 の反応等を記録し、支 援内容を再確認でき るよう意識づけています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	7	3		毎朝の申し送りで確認し ています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	6	4		都度、共有事項がある 場合は行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	10				日々の支援にて確認できる児童の反応を記録しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	10					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	4	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	9	1			就学前の児の様子や特性、情報を確認しスタッフ間の共有に 努めています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	9	1			当事業所では対象児童がいないが、必要時には情報共有を 行います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	8	1	1		利用開始に合わせて看護指示書の作成依頼、必要に応じて 主治医へ医療的ケアのアドバイスをいただいています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	4	1		対象児童がいませんが、そのような児童がいた場合には情報 共有に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4	2	3		当事業所には対象児童がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4	4	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		1	9		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2	3	5		豊見城市内の福祉事業所定期連絡会「かざぐるま連絡協議 会」で定期的に行われる、制度等について情報共有および勉 強会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	10				連絡帳を活用しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		4	6			
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8		2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	10				管理者・リーダーが相談し対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1	4	5		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	10				管理者・リーダー報告し、必要時に職員会議にて対応してい ます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	9		1	担当者が毎月通信を発 行しており、好評いただ いています。	
	35	個人情報に十分注意している	10				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	9	1			医療的ケアや持参物は保護者の意向に沿う形で対応してい ます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	5	1	4		ハロウィンの行事で、近隣の店舗に協力していただき活動 行えました。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2	2		研修を実施しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	3	1		令和3年度は1回のみでしたが、令和4年度は4回計画しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	2		研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	2		身体拘束については、法改正もあつたため全職員に改めて周知目的の勉強会を実施予定です。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9				食事提供を行う児童には事前に確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		1		ヒヤリハットファイルを作成し、全スタッフが周知できるようにしています。